

「5つの力」を徹底強化

— 対人関係力・やり切る力・段取り力・想像力・適応力 —

◆主な対象者 ●入社3～5年目の若手社員

◆ねらい 「プロ社員」としての気概を醸成し、意識改革・行動革新を図るための「きっかけ」とする。

◆日時 2019年10月25日(金) 10:00～17:00 (受付開始 9:30)

◆会場 アゴラ静岡 7階 会議室 (静岡銀行呉服町支店ビル)
静岡市葵区追手町 (JR静岡駅から徒歩約8分)

◆受講料 (一人あたり:資料代、消費税を含む) (円)

申込人数 会員区分	1～2名	3～4名	5～7名	8名～
維持会員	12,800	10,000	8,000	7,000
賛助会員	25,600	20,000	16,000	14,000
非会員	38,400	30,000	24,000	21,000

◆プログラム

- 【1】あなたへの期待
- 【2】「対人関係力」の鍛え方
- 【3】「やり切る力」の鍛え方
- 【4】「段取り力」の鍛え方
- 【5】「想像力」の鍛え方
- 【6】「適応力」の鍛え方
- 【7】5つの力の発揮方法
- 【8】ビジネス人生のための自分磨き

◆講師 N & K ネットワーク代表 天崎 啓一 (あまざき けいいち) 氏

大手企業にて社員教育を担当後、コンサルティング会社に入社。

人材活性化プロジェクトのリーダーとして、多くの企業内研修や公開セミナーを担当すると共に、顧問先開拓などの営業全般を統括する。その後、サービス企業の専務取締役として迎え入れられ、約2年半にわたり人材の活性化と収益の改善に取り組み、同社の立て直しを図る。

現在、ハートワーク、ヘッドワーク、フットワーク、ネットワークの4ワークを最大限に活用した具体的なコンサルティングをモットーとしたN&Kネットワークの代表として、新規事業の立ち上げ支援や不振店の立て直し、人材と組織の活性化支援、“なりたい自分”になるための転機形成支援や中高年の再生(職掌転換)支援に注力している。公開セミナーや研修においては、「できない理由・言い訳・愚痴が人間の成長を止める」を持論に受講生の「気づき」を促し、「やる気」を高める人間性あふれた熱血講師として好評を得ている。



■プログラム

1. あえて問う！ あなたは何を期待されているのか！
「今のままの自分」で本当にいいのか！

【講義・実習】

- (1) 「5つの力」が、なぜ必須なのか
～「5つの力」欠如がもたらす弊害について～
- (2) 「5つの力」を鍛えると、どんなメリットが
得られるのか
- (3) 自己理解＝「5つの力」現状の力量を測り、
自己課題を明確にする

2. 「対人関係力」を鍛えよう！

【講義・実習・自己チェック】

- (1) コミュニケーション力は仕事の生命線であり、
対人関係力のベースとなる力
- (2) 「話し上手」な人は「聴き上手」な人
～聴き上手の実践ポイントと自己表現力の高め方～
- (3) 周りの人に「不」の感情を抱かせない
～3好を意識した立ち振る舞い～

3. 「やり切る力」を鍛えよう！

【講義・グループ討議・自己チェック】

- (1) 「自己のわがまま」をどう制するかで勝負が決まる
- (2) 集中力を持続させるコツは、ゴールを常につくり
続けること
- (3) 「もうちょっとの心」を持って事に当たる

4. 「段取り力」を鍛えよう！

【講義・グループ討議・自己チェック】

- (1) やる前にキチンと考える
(なるべく多くの仮説を立て、やるべき事を書きだす)

- (2) 時間の見積もり（所要時間と開始・終了時間の見
通し）をすること
- (3) 常に先を予測し、ついでに出来ることは前もって
やること

5. 「想像力」を鍛えよう！

【講義・グループ討議・自己チェック】

- (1) 「想像力」とは、これからのことを良く考える力
- (2) 「頭の中」だけで考えるのではなく、
「言葉」に出して言う
- (3) 人の話を聞いて「想像力」を養い、自分の言葉で
伝えて「表現力」を鍛える

6. 「適応力」を鍛えよう！

【講義・グループ討議・自己チェック】

- (1) 「面倒くさ！」「アホくさ！」、
この2つの「くさ」刈りを徹底しよう！
- (2) 新たな状況において「学ぶのが早い人」が
「変化に対応できる人」
- (3) 自己肯定感の強弱が適応力を左右する

7. 「5つの力」を最大限に発揮してチーム対抗戦
を勝ち抜こう！

【実習・チーム対抗戦】

～チームメンバー個々の力を結集して事にあたり、
他チームを説き伏せる～

8. これからの「ビジネス人生」は「自分」次第！

「自分磨き」を始めよう！ 【個人ワーク】

～自分の生き方に戦略を持って！
「新しい自分」への挑戦計画～

●お申込み要領

- ①「参加申込書」に必要事項をご記入の上、当研究所あてFAXでお送り下さい。
- ②後日、参加証と請求書を郵送いたします。
- ③欠席される場合は、セミナー前日までにご連絡下さい（当日欠席の場合、受講料は返戻いたしませんのでご了承下さい）。

参加申込書(10/25 5つの力)

FAX 054-250-8770

静岡経済研究所 行

貴社名		業種		電話	
ご住所	〒			FAX	
会員区分 (いずれかに○)	維持会員	賛助会員	非会員	連絡 ご担当者	(所属・氏名)
ご参加者 氏名	(フリガナ)			(所属・役職)	
	(フリガナ)			(所属・役職)	
	(フリガナ)			(所属・役職)	

・公共交通機関をご利用下さい。 ・ICレコーダーなど、録音機器のお持ち込みはご遠慮下さい。

お問い合わせ先

一般財団法人静岡経済研究所 セミナー担当
TEL 054-250-8750 静岡市葵区追手町1-13 アゴラ静岡5階

・当所では、個人情報の保護に関する法律（2003年5月30日法律第57号）に基づき、セミナーにお申込いただいた皆様の個人情報を取り扱っております。詳細につきましては、当所ホームページ（http://www.seri.or.jp）「プライバシーポリシー」にてご確認下さい。